

操業中の生産現場における実機試験、2003年6月～9月

空気圧縮機： 吐出し量の向上、 潤滑油消費量の低減

ウラジオストク食肉加工工場公開株式会社・技師長V.I.ポタポヴィチ・処理実施：XADOコーポレーションの
沿海地方総代理店、副代表A.E.レオノフ

ウラジオストク（ロシア）・試験期間2003年6月～9月・2003年9月20日付報告書

製品

圧縮機用
XADOゲル状リバイタリザ
ント（摩擦面再生剤）
分解せずに、潤滑油を交換せず
に行う3段階の処理

試験対象

事業所の空気圧縮機
クランクケース油量10.5 l・必要
に応じた運転

文書の種類

試験報告書
ウラジオストク食肉加工工
場公開株式会社

機械類

試験開始時の状態

測定内容

事業所の空気圧縮機

稼働中、クランクケース油量**10.5 l**、
潤滑油消費量**40 ml/h**

運転圧力までの空気槽の充填時間、潤滑油
消費量、負荷時の消費電力

処理は潤滑油を交換せずに行ったため、「処理前」と「処理後」の測定は同一の潤滑油で行った。確認測定は3か月の運転後に実施した。

主な結果

↓ **90 s**

運転圧力までの空気槽の充填時間、3 min 40 s → 2 min 10 s

↓ **4×**

圧縮機の潤滑油消費量、40 → 約10 ml/h

処理前と運転3か月後の測定：空気圧縮機

測定項目	処理前	運転3か月後
運転圧力までの空気槽の充填時間	3 min 40 s	2 min 10 s
潤滑油消費量（クランクケース油量10.5 l）	40 ml/h	約10 ml/h
負荷時の消費電力（380 V、38 A）	20 kW	20 kW、処理前と同水準

負荷時の消費電力は変化していない。消費電力量の削減は、圧縮機の負荷運転時間の短縮によるものである。

報告書の結論

ウラジオストク食肉加工工場公開株式会社の報告書には、試験の結果として次のとおり記載されている。1. XADOリバイタリザントの使用により、圧縮機の吐出し量が増加し、潤滑剤の消費量が減少した。本設備を定格負荷で1日あたり8 h運転する条件では、処理費用は消費電力量の削減により約26日で回収される（潤滑剤の節減分は含まない）。2. XADOのリバイタリザントおよび潤滑剤の使用は妥当である。圧縮機は分解せずに、潤滑油を交換せずに、事業所の通常の稼働中にそのまま処理された。

XADO

© XADO。無断転載を禁ずる。
本結果は、ウラジオストク食肉加工工場公開株式会社の空気圧縮機およびその運転条件に関するものであり、他の機械類や異なる負荷率では結果が異なる場合がある。投資回収期間の算定は報告書の記載に基づく。同報告書の共同署名者は、処理を実施したXADOコーポレーションの総代理店である。報告書の原本は全文を公開しており、ダウンロード可能である。